

2002年度第3四半期連結決算(米国基準)

損益の状況 (単位:億円)	2002年度 第1~第3四半期累計			2001年度 第1~第3四半期累計		2002年度業績見通し (上期決算公表時)		前年同期比の増減 (第1~第3四半期累計)
	上期	第3四半期		増減		達成率		
売上高	63,256	33,565	96,821	99,712	2,891	128,000	75.6%	<p>a. 【売上総利益】 金属資源や食料関係のM&Aによる事業拡大効果などにより子会社の業績が好調なことに加え、物流関連子会社の新規連結の影響などもあり、625億円の増益となった。</p> <p>b. 【販売費及び一般管理費】 親会社の退職関連費用の増加、及び食料などのM&Aによる事業拡大の影響や新規連結子会社の影響に伴う負担増加。</p> <p>c. 【貸倒引当金繰入額】 前年度に計上した北米金属関連子会社に対する引当金の反動。</p> <p>d. 【受取配当金】 エネルギー資源関連の前年度追加配当による反動減、並びに金属資源関連(銅)の市況悪化による減少。</p> <p>e. 【有価証券損益】 前年度に計上したPIRI/SDL株式売却益や米国金融子会社の投資時価評価益の反動減。尚、当第3四半期25億円の主な要因は、上場有価証券の強制評価減によるもの。</p> <p>f. 【固定資産損益】 親会社で保有していた不動産の売却益を計上したことに加え、前年度に事業用固定資産の減損処理を行ったことによる反動による改善など。</p> <p>g. 【持分法投資損益】 アジア・欧州の自動車関連会社の業績回復や、会計基準変更に伴う暖簾償却取り止めの影響など。</p> <p>h. 【会計原則変更による累積影響額】 2002年度より導入された新会計基準に基づき、既存の逆暖簾を一括利益計上した影響額。</p>
売上総利益	3,492	1,847	5,339	4,714	625 13%の増益	7,100	75.2%	
販売費及び一般管理費	2,939	1,508	4,447	4,024	423	5,950	74.7%	
貸倒引当金繰入額	137	4	141	198	57	200	70.5%	
営業利益	416	335	751	492	259 53%の増益	950	79.1%	
利息(受取利息差引後)	73	35	108	112	4	170	63.5%	
受取配当金	180	43	223	319	96	250	89.2%	
有価証券損益	149	25	174	36	210	20	745.0%	
固定資産損益	89	14	75	97	172			
その他の損益	56	6	50	29	21			
税引前利益	407	310	717	609	108	1,050	68.3%	
法人税等	195	156	351	306	45	526	66.7%	
少数株主持分	28	35	63	20	43	80	78.8%	
持分法による投資損益	169	144	313	241	72	320	97.8%	
会計原則変更による累積影響額	86	-	86	-	86	86	100.0%	
当期純利益	439	263	702	524	178 34%の増益	850	82.6%	
<参考数値>								
基礎収益(*1)	829	491	1,320	1,138	182	1,550	85.2%	

(*1)基礎収益=営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)+利息収支+受取配当金+持分法による投資損益(2002年度9ヶ月累計=751+141-108+223+313=1,320億円)

資産と負債の状況	2002年12月末		2002年3月末		2003年3月末見通し (上期決算公表時)		2002年3月末比の増減
			増減		増減		
総資産	80,588	81,449	861	82,000	1,412	<p>i. 【総資産】 親会社の上場株式含み益の減少や金融子会社での財務運用資産の圧縮などにより861億円減少。</p> <p>j. 【株主資本】 当期純利益702億円により増加したが株価下落による未実現有価証券評価益の減少や円高による外貨換算調整勘定が悪化した影響などにより114億円減少。</p> <p>k. 【有利子負債】 海外子会社の借入金返済などにより775億円減少。</p>	
株主資本	10,171	10,285	114	10,500	329		
<参考数値> 有利子負債(*2)	41,623	42,398	775	42,500	877		
(有利子負債倍率GROSS)	(4.1倍)	(4.1倍)	(-)	(3.9倍)	(0.2倍)		
(有利子負債倍率NET)	(3.6倍)	(3.7倍)	(0.1倍)	(3.6倍)	(-)		

(*2)有利子負債=短期借入及び1年内長期債務+長期借入債務-割引手形-FAS133影響額(2002年12月末=11,061+31,648-36-1,050=41,623億円)

【主要指標推移】	2002年度		2001年度		増減
	第3四半期(平均)	第3四半期(平均)	第3四半期(平均)	第3四半期(平均)	
油価(USD/BBL)	25.9	23.3	2.6	(11%の上昇)	
為替(YEN/USD)	122.9	122.7	0.2	(0.2%の円安)	
金利(%TIBOR)	0.08	0.08	-	(-)	

【参考数値について】

- *1 基礎収益 : 当社の収益力を測るため、経常的に発生する損益項目を集計した参考値。
- *2 有利子負債 : BSに計上された有利子負債勘定のうち実際に当社に返済義務のある調達資金に限定した参考値。